



くぼあいあい号!



特別養護老人ホーム 松寿苑



もくじ (主な内容)

令和7年度事業計画と予算	2, 3P
新人職員紹介	4P
善意の花束	5P
地区社協の活動紹介コーナー	6P
活動レポート	7P
掲示板	8P

4月3日、特別養護老人ホーム松寿苑で、久保地区交流支援事業「くぼあいあい号」の運行開始式が行われました。

日常的に移動に制約のある高齢住民のふれあいを目的とした取り組みで、送迎時間外の松寿苑の車両が提供されます。まずは来巻地区を対象とし、登録者を4つのグループに分け、毎週木曜日に運行します。

ふれあい、支えあい、乗り合い、出会い、愛、たくさんの「あい」を乗せた「くぼあいあい号」の出発です！

令和7年度

下松市社会福祉協議会 事業計画と予算

事業方針

地域社会を取り巻く環境は、少子・高齢化、人口減少社会の進行、家族機能の変化や核家族化が進むとともに価値観の多様化などを背景に、地域における支え合いの機能が弱体化しつつあります。

こうした地域社会の変容と地域住民の複合化・多様化した支援ニーズに対応するためには、地域で暮らす方々に寄り添い、関係機関やボランティア、行政機関等と連携・協働する必要があります。令和7年度から下松福祉センターを核とする地域福祉拠点施設整備が始まり、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続け

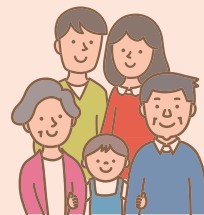
ることができるよう事業展開を考えていくこととしています。

このような情勢の中、下松市社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として、住民主体の理念に基づき、幅広い関係機関・団体・施設等との連携により、誰もが役割を持ち活躍できる「地域共生社会（ともに生きる豊かな地域社会）」の実現をめざします。

社協事業への積極的なご参加と温かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

重点事業

- 地域福祉活動の担い手の育成と住民参加を促す地域づくり
- 見守り・支え合いの推進のための公私協働による多世代交流づくり
- 地域共生社会の実現に向けた伴走型支援体制の取り組みの強化
- 住み慣れた地域でその人らしい生き方・生活を尊重した在宅福祉サービスの実施
- 組織体制、財政基盤強化への取り組み
- 地域福祉拠点施設整備に向けた取り組み



主な事業

1 社協経営の基盤強化

- ①理事会・評議員会の開催
- ②役員（理事・監事）・評議員の改選
- ③経営の透明性及び情報の公開
- ④福祉関係機関・団体・施設等との連携強化
- ⑤地域における公益的活動の推進
- ⑥福祉人材の確保及び育成
- ⑦BCPの策定及び運用
- ⑧地域福祉拠点施設整備に向けた取り組み

2 地域福祉活動の推進

- ①第3次下松市地域福祉活動計画の評価及び第4次計画の策定に向けた取り組み
- ②地区社協の育成・活動支援
- ③福祉員活動の推進
- ④ふれあい・いきいきサロンの推進
- ⑤ふれあい食事サービスの実施
- ⑥敬老行事の実施と援助
- ⑦地域活動組織支援事業の実施

- ⑧生活支援体制整備事業の実施
- ⑨社会福祉法人と協働した公益活動の推進

3 ボランティア活動・福祉教育の推進

- ①ボランティアの育成及び活動支援
- ②災害支援ボランティアの養成及び啓発
- ③ジュニアボランティアの養成
- ④小・中学校等における福祉教育の支援協力

4 在宅福祉サービス事業の促進

- ①産前・産後サポーター派遣事業の実施
- ②子育て世帯訪問支援事業の実施
- ③介護支援ボランティアポイント制度事業の推進
- ④助け合いサービス事業の実施
- ⑤知的障害児者の余暇活動の促進
- ⑥介護用具等の貸し出し

5 居宅介護事業の充実

- ①訪問介護事業の実施
- ②障害福祉サービス事業の実施



6 総合相談支援事業の実施

- ①総合相談事業の実施
- ②日常生活自立支援事業の推進
- ③法人成年後見支援事業の実施
- ④生活困窮者自立支援事業の実施

7 広報・啓発活動の充実

- ①社協だよりの発行（年4回）
- ②愛のバザーの開催
- ③下松市社会福祉振興大会の開催
- ④ソーシャルメディア（LINE等）を活用した情報の発信

拠点区分・サービス区分事業名	予算額(千円)
地域福祉推進事業拠点	222,515
法人運営事業	97,931
広報啓発事業	3,173
ボランティア等推進事業	1,129
福祉の輪づくり事業	767
地区社協育成事業	2,670
高齢者福祉支援事業	1,537
健康体力づくり事業	804
日常生活自立支援事業	9,667
成年後見支援事業	240
総合相談事業	471
地域活動組織支援事業	286
生活困窮者自立支援事業	20,869
介護支援ボランティアポイント制度事業	409
生活支援体制整備事業	10,378
認知症高齢者見守り事業	20
ふれあいいきいきサロン支援交付金事業	1,000
敬老事業	10,680
福祉号運行事業	1,777
助け合いサービス事業	815
活動助成・援護事業	1,910
共同募金配分金事業	7,550
子育て支援センター事業	13,334
老人福祉会館運営事業	16,193
福祉センター運営事業	4,780
資金貸付事業	6,950
善意銀行運営事業	5,600
事業資金積立金運営事業	1,395
基金運営事業	180
介護保険・障害福祉サービス事業拠点	23,991
訪問介護事業	15,297
居宅介護事業	5,669
地域生活支援事業	2,883
産前産後サポーター派遣事業	65
子育て世帯訪問支援事業	77
支出合計	246,506

8 福祉資金等の貸付

- ①各種福祉資金の貸付（窓口）業務
- ②援護資金等の貸付・償還業務

9 援護活動の推進

- ①社会福祉施設の支援
- ②福祉団体の育成・援助
- ③母子家庭児童への援護
- ④交通遺児等への援護
- ⑤ひとり親世帯等への援助
- ⑥災害家庭への緊急援護

10 共同募金等への協力

- ①共同募金運動の展開
- ②「小さな親切」運動の展開
- ③護国神社奉賛会の運営

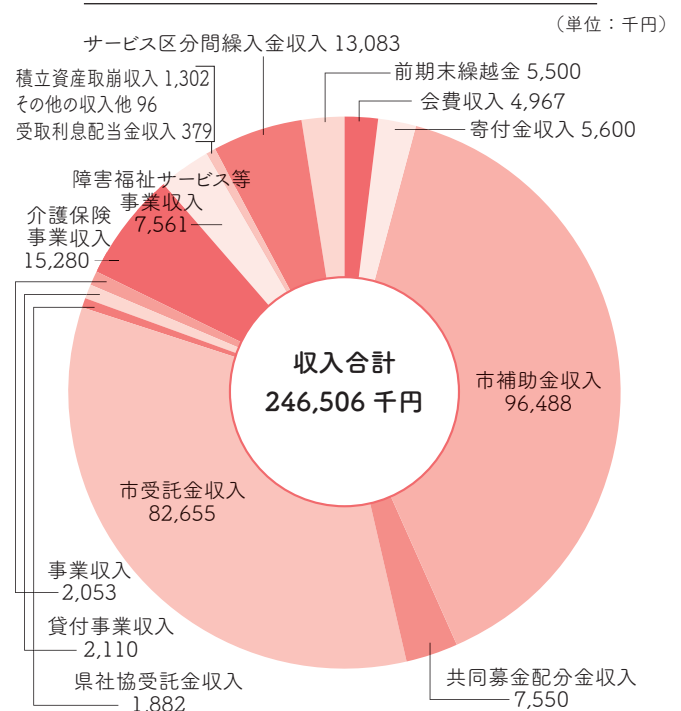
11 子育て支援センター事業の実施

- ①子育てに関する相談・情報提供
- ②子育てサークル等の育成・支援
- ③未就園児及び保護者相互の交流
- ④子育て支援事業「出張ひろば」の開催

12 福祉施設の運営等

- ①老人福祉会館「玉鶴」の運営
- ②福祉センターの運営

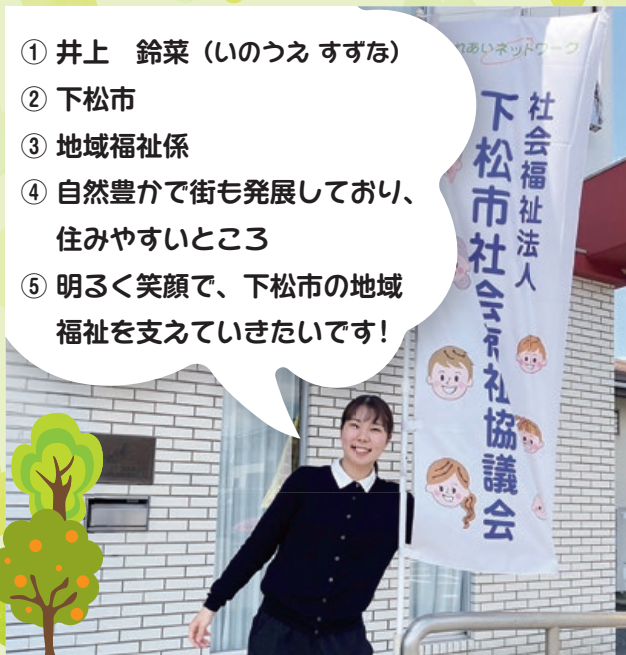
予算総額 246,506 千円



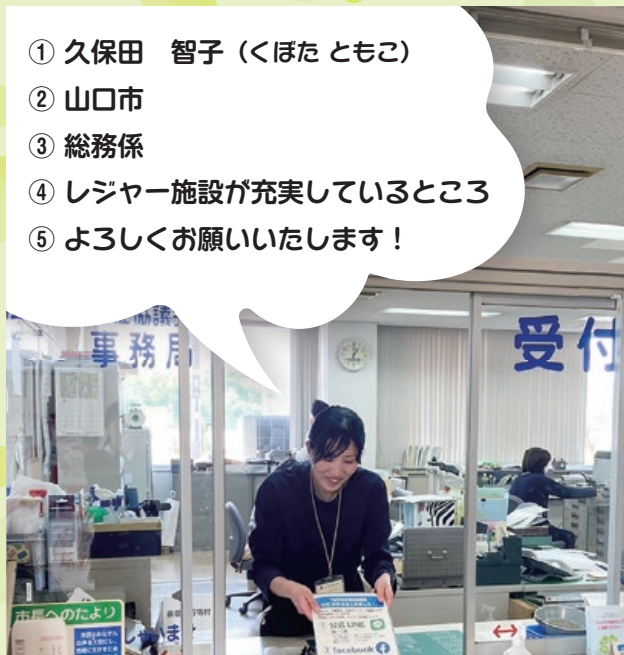
令和7年度 下松市社会福祉協議会新人職員紹介

①名前 ②出身(市) ③配属 ④下松市の好きなおとこ ⑤一言メッセージ

- ① 井上 鈴菜 (いのうえ すずな)
② 下松市
③ 地域福祉係
④ 自然豊かで街も発展しており、
住みやすいところ
⑤ 明るく笑顔で、下松市の地域
福祉を支えていきたいです!



- ① 久保田 智子 (くぼた ともこ)
② 山口市
③ 総務係
④ レジャー施設が充実しているところ
⑤ よろしく願いいたします!



地域の身近な出会いの場に 参加してみませんか

市内のふれあい・いきいきサロンやサンサン体操、百歳体操などの教室が掲載された「くだまつ通いの場ガイドブック」が完成しました。

現在、活動している60グループの開催場所や開催日時、内容が写真付きで紹介されています。

新たな生きがいや仲間づくりにつながり、参加してみたいグループが見つかるかも。下記のQRコードから読み取れますのでご覧ください。



問い合わせ先

下松市社会福祉協議会
☎41-2242



助け合いで 人災「ゼロ」へ



1月22日、周南市徳山社会福祉センターで、災害ボランティアセンターの基礎的な考え方と防災に関する知識を深めることを目的に、「周南3市災害ボランティア講座」が開催されました。

3市から66名が参加し、災害ボランティアと災害ボランティアセンターについての説明や災害時の心構えについて、周南市地域防災マネージャー防災専門員の大家英雄さんから話を伺いました。災害時の連携、迅速な対応等について、参加者一人ひとりが考える、貴重な機会となりました。



善意の花束

社会福祉事業のためにと、市民の皆様から、善意銀行に忌明けその他の厚志を含めてたくさんの善意が寄せられました。ここに厚くお礼申し上げます。なお、氏名・金額はご了承いただいた方のみ掲載しています。(順不同)

令和7年1月1日～令和7年4月30日 受付分

香典返し

< 若宮町 >	
廣戸 節子 様	100,000 円
(御主人) 一見 様	
< 望 町 >	
小林 勝 様	200,000 円
(御令嬢) 京子 様	
< 青 柳 >	
友清 勝利 様	50,000 円
(御内室) 良枝 様	
< 青 柳 >	
近藤 由宏 様	100,000 円
(御母堂) 貞子 様	

一般寄付

末武地区ふれあい新春のつどい 様	6,200 円
累計	191,122 円
たんぽぽの会 様	5,000 円
累計	225,000 円
山田子供会 様	35,726 円
< 生野屋 >	
匿名 様	30,000 円
< 周南市 >	
木村 茂 様	10,000 円
累計	130,000 円

指定寄付

日立製作所労働組合笠戸支部 様	
日立ハイテク労働組合笠戸支部 様	
累計	228,533 円
累計	19,410,475 円

物品寄付

株式会社マルハン下松店 様	お菓子
リングプル	8 件
使用済切手	12 件

社協会費にご協力をお願いします

下松市社協は、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして」というスローガンのもと、地域福祉の推進に取り組んでいる民間の社会福祉団体です。

地域の支え合いの実現に向けて、市民の皆様には、会員として社協の活動や地域で取り組まれている福祉活動を支えていただいています。

お寄せいただいた会費は、地域福祉活動を支える貴重な財源として、地区社協や福祉員の活動支援等に活用されています。

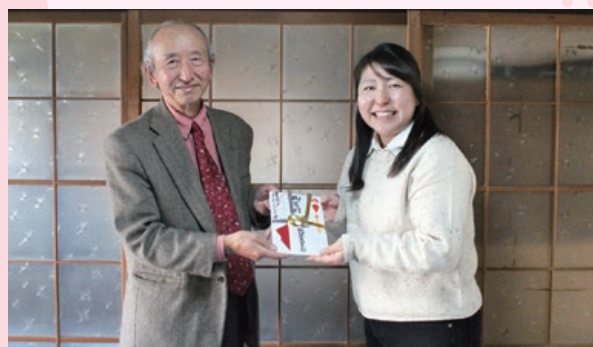
社会福祉協議会の活動にご理解をいただき、会費のご協力をお願いいたします。



親切会 中国支部の支援活動

●株式会社日立製作所と関連会社の従業員で構成する奉仕団体「親切会中国支部」から、フリースクールの運営や子育て支援等に取り組まれている「特定非営利活動法人 フリースペースコティ」と、「バリアフリー映画をみんなで楽しむ会」に活動の一助として見舞金が贈られました。

対面での贈呈式が実施され、見舞金の使い道や各団体の活動内容等の紹介を行いました。



地区社協の活動紹介コーナー

西地区社会福祉協議会

会長：廣田 豊
設立：昭和39年4月1日



廣田会長

西地区は、JR下松駅の南西に位置し、12自治会で構成され、令和7年1月時点で人口1,742人、世帯数944世帯、65歳以上569人、高齢化率32.7%となっています。

地域の中心部にはリニューアルされたお店や歴史のある浄西寺、普門寺、妙見宮鷲頭寺、及び周慶寺等の仏閣があります。病院や郵便局にも近く、県道366号(旧国道188号線)が通り、生活アクセス・交通アクセスとしての利便性の高い地域です。

地域行事としては、ふれあい食事サービス、敬老会、愛のバザー、ゆうゆうサロン、公民館まつり、夏祭り、もちもちフェスタ及び節分祭等への活動を支援しています。

これからも地域の自治会と連携し、地域ボランティア、防犯委員、民生児童委員、福祉員及び婦人会等のご協力をいただきながら地域づくり、“住みよい街づくり”を目指していきたくと思います。



東地区社会福祉協議会

会長：井上 明典
設立：昭和39年4月1日



井上会長

東地区社協は、下松市の南東に位置し、海岸沿いに工場群、山手側が住宅地となっています。地区内には豊井公民館、豊井小学校、江口幼稚園があります。

豊井、上恋ヶ浜、琴平、洲鼻の4自治会で構成され、人口1,405人、世帯数768世帯、65歳以上の高齢者が468人、高齢化率は33.3%となっています。

近年、上恋ヶ浜地区の宅地開発、豊井地区の街づくり事業により若い世代の人口が増えており活気ある地域になりつつあります。豊井小学校の児童数は令和7年4月現在52名となっていますが、今後増えることが予想されます。

地区社協の運営につきましては、各地区自治会長4名、老人クラブ会長、福祉員、合計26名で構成し活動しています。“声かけ・あいさつ運動で地域の和（輪）を広げよう”をスローガンに活動していきます。地域の大きな行事としては「とよい夏まつり」、「とよい祭り」に協賛、「とよいふくしまつり」を主催し、地域の活性化に努力しています。

また、同様のメンバーで構成された豊井地区協議体である「豊井あんしん隊」の活動においても地域の活性化に努めています。

独居会食サービスにつきましては、地区のボランティアグループの“なでしこの会”の方々が調理された栄養満点のお弁当を5回/年(約60食/回)民生委員・福祉員で配食、高齢者の見守りを行っています。





活動レポート



聞く！聴く！訊く！

2月17日、下松福祉センターで「お話し相手ボランティア講座」を開催しました。

ギャップ・フィリング株式会社 藤本真樹さんから「心に寄り添うコミュニケーション術」を講話や実践をまじえ、楽しく学びました。

参加者からは「聴く(相手の思いや考えを心に留める)を目指したい」「話し相手がいるだけで元気になれる」「つながりの大切さをあらためて知った」など、これからの生活に生かしたいという意見が多く聞かれました。



地区社協連絡会議

3月4日、下松福祉センターで各地区社協の代表者18人が集まり「地区社協連絡会議」を開催しました。

下松市には15の地区社協が組織されており、地域住民にとって最も身近な組織であり、地域福祉を具体的に促進する大きな役割を担っています。

本年度の社協事業についての説明後、4つのグループに分かれて、各地区での今年度の活動や新たな担い手についての情報交換を行いました。他地区の取り組みの工夫や問題点などを熱心に話し合いました。



多様な作業とサポートで

自信と社会的スキルを身に付ける

2月20日、「福祉施設見学会」を開催しました。今年度は就労継続支援B型事業所「メタゲーム下松」と、就労継続支援B型・自立訓練(生活訓練)「みなくはうす下松」を見学しました。

参加者の多くがB型事業所の見学が初めてともあり、「パソコンを利用したB型事業所があることを初めて知った」「障害のある人がそれぞれの特性を生かして働ける場所があるのはとても良いことだ」といった声が聞かれました。



※「就労継続支援B型」は、働く意欲があるものの、一般就労が難しい人に対して、働く時間や作業内容を個々のニーズに合わせて調整することが大きな特徴で、多様な作業やサポートを通じて、利用者の自信や社会的スキルを高めます。

地域で取り組む

助け合いのまちづくり

3月17日、ほしらんどくだまつで「協議体委員研修会」を開催しました。周南公立大学准教授の牛島豊広先生より「わたしが住みよい街から わたしたちが住みよい街へ」の講演後、久保地区交流支援事業についての報告がありました。

各地区の協議体委員を中心に参加された80名の方からは「無理をせず、自分に出来ることを、地域の人たちに寄り添っていけるように努力し、頑張っていきたい」「民間事業者との協力による事業で、大変興味深い内容だった」といった声が聞かれ、これからの協議体活動の活性化につながる研修会になりました。



※「協議体」は、地域で福祉活動に取り組んでいる皆さんが「定期的な情報共有や意見交換」を行いながら、「近所の助け合いの仕組み作り」を進めていけるように、概ね公民館区に9か所設置されています。

掲 示 板

善行者を推薦しよう

あなたが見た、受けた、親切さん（個人・企業・グループ）を推薦してください。年齢制限はありません。大人でも、子どもでもどなたでも推薦いただけます。いつ・どこで・だれが・何をされたかを、実行章推薦用紙に記入して、下松支部までお知らせください。実行章を伝達し、その善行を皆様とともに称えます。

実行章推薦用紙は、ホームページから様式をダウンロードできます。

〒744-0078

下松市西市二丁目 10 番 16 号

下松市社会福祉協議会内

「小さな親切」

運動下松支部

Tel 41-2242

推薦先



受け継がれて...



“小さな親切”運動



「小さな親切」運動 下松支部

作品集を贈呈

3月12日、児童生徒の作文コンクールへの参加啓発と温かい親切運動に触れ、心の成長を促すことを目的に、下松市立図書館と市内の小中学校へ作品集を贈呈しました。

令和6年度は、身の回りの親切な行動を見て、親切とはなにかを考えたり自らの行動へとつながっていく、という作品が特に目立ちました。

作品集は、下松市社会福祉協議会（下松福祉センター）にも設置しています。なお、入選者の作品につきましては、「小さな親切」運動本部のホームページに掲載されていますので、併せてご一読ください。



贈呈書籍

人が好きになるすてきな 54 話

掲載内容

第 49 回「小さな親切」作文コンクール

第 40 回「小さな親切」はがきキャンペーン入賞作品収録

下松市社会福祉協議会 職員募集

職種・採用予定人員

一般事務 若干名

受験資格

次のいずれにも該当する者

- 昭和 56 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、学校教育法に規定する大学（短期大学を除く。）を卒業した者
- 社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事のいずれかの資格を有する者
- 普通自動車運転免許（AT 限定可）所持者
- 令和 7 年 10 月 1 日より勤務可能な者

採用予定日

令和 7 年 10 月 1 日

試験日

令和 7 年 7 月 20 日（日）

受付期間

令和 7 年 5 月 19 日（月）～ 7 月 4 日（金）

試験案内・申込書の配布場所

下松福祉センター（下松市西市二丁目10番16号）

1 階受付及び郵送による請求

※ 下松市社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。

※ 試験内容などの詳細については、必ず受験案内で確認してください。



申し込み先及び問い合わせ先

〒744-0078 下松市西市二丁目10番16号

下松市社会福祉協議会 総務係 TEL 0833-41-2242

次回発行は 8 月号です